



学校  
便り

やぎさわ

前期学校評価 特別号  
西東京市立柳沢小学校

令和5年12月5日発行  
校長 橋本 誠之

7月末に行った前期学校評価アンケートの集計結果と考察です。ご報告させていただきます。  
R5前期 学校評価（保護者）（全体数 399名 提出数 207名 回収率 51.8%）

問	よく思う	だいたい思う	少し思わない	思わない	わからない
問1	23.8%	60.2%	6.3%	4.3%	6.3%
問2	25.2%	58.3%	7.3%	6.3%	6.3%
問3	26.1%	52.7%	6.8%	4.4%	11.1%
問4	25.6%	48.8%	9.7%	2.4%	13.5%
問5	30.9%	50.2%	5.3%	5.1%	13.0%
問6	33.8%	45.9%	3.9%	4.1%	14.0%
問7	26.1%	54.1%	5.8%	4.4%	11.6%
問8	31.4%	45.4%	12.1%	2.4%	8.7%
問9	29.0%	51.7%	4.8%	4.1%	13.0%
問10	43.0%	46.4%	4.8%	4.8%	8.8%
問11	31.9%	46.9%	6.8%	2.4%	12.1%
問12	33.8%	49.3%	6.3%	3.9%	6.8%
問13	32.4%	58.5%	1.9%	6.8%	6.8%
問14	40.6%	44.4%	7.7%	2.3%	2.9%
問15	31.9%	50.7%	5.8%	2.4%	8.2%
問16	26.6%	45.9%	6.3%	4.1%	19.8%

問4「効果や価値のある指導を随時取り入れ、新しい時代に必要な資質を育成している。」

肯定的回答が約74%であった。タブレットPCを活用した授業を全教員が同じスキルをもって行えるように今後も研究授業などを通して取り組んでいく。英語の教科化やSDGs教育など、今後、益々求められる児童の資質や技能を育成できるように6年間を見通して計画的に学習を行っていく。

問8「朝読書や読み聞かせ、読書旬間を通して、進んで読書に親しむ態度が養われている。」

肯定的回答が約76%であった。今年度も全学年で読書旬間を行った。読書旬間では、より意欲的に本を読むように、図書室に新たな読書コーナーを設置したり、読書スタンプカードを配布したりした。学校司書も、図書の時間に頻繁に読み聞かせを行う等、児童の本への興味が湧くように環境を整えた。また、読み聞かせサークル「ゆらら」とも連携し、今後も定期的に読み聞かせ活動を行っていききたい。

問11「心が通い合う挨拶や丁寧な言葉遣い等、言葉を大切にした指導が行われている。」

肯定的回答が約78%であった。西東京市の施策「あったか先生」でも、人権に配慮した声掛けや言葉遣いをするように教員一同で取り組んでいる。しかし、児童同士の言葉遣いが悪い場面を見かけることがある。生活指導とともに、道徳や国語等の授業を通して、相手の気持ちを考えたり、場面に合う言葉遣いをしたりするように、引き続き指導を行っていく。

問16「保護者や教育力を生かした教育活動が行われている。」

肯定的回答が約67%であった。学校だけで様々な問題や課題に対応することが難しい時代になってきている。来年度から始まるコミュニティスクールで、地域の方々の知恵や力を借りて学校運営を行っていく。また、地域人材を活用した、授業などを積極的に行い、児童が地域や保護者と更に交流できる環境を整えていききたい。

R5前期 学校評価（児童）（全体数 499名 回収率 100%）

	よくしている (よく思う)	だいたいしている (だいたい思う)	すこししている (少し思わない)	していない (思わない)	わからない
問1 学校のきまりを守り、安全に気をつけて行動していますか。	57.6%			33.6%	4.9%
問2 悩みや困っていることを先生や大人に相談していますか。	30.2%	27.4%	14.1%	19.2%	9.2%
問3 学校に行くことが楽しいと思いますか。	54.4%		27.7%	8.5%	5.6%
問4 学習がよくわかって楽しかった、またやりたいと思うことがよくありますか。	43.5%		34.5%	10.7%	6.6%
問5 めあてや目標をもって、学習したり、生活したりしていますか。	43.8%	28.5%		16.7%	5.1%
問6 すすんでみんなに発表したり、友達に意見や感想をいったりしていますか。	36.2%	27.9%		22.6%	8.7%
問7 家でも自分からすすんで学習をしていますか。	41.8%	25.6%		16.7%	10.0%
問8 すすんで読書をしていますか。	51.8%	18.0%		17.3%	11.1%
問9 たてわり班などで、ほかの学年の友達と話したり、遊んだりしていますか。	50.1%	22.4%		15.9%	7.5%
問10 地域の方や 保護者の方に すすんであいさつをし、正しい言葉づかいをしていますか。	52.8%	28.2%		10.8%	3.9%
問11 友達のことを思いやり、すすんで親切にし、協力して楽しい学級をつくらうとしていますか。	50.0%	30.3%		10.5%	17.2%
問12 すすんで運動したり、外で遊んだりしていますか。	52.5%	19.1%		17.3%	6.7%
問13 地域の方と一しょに 行事に参加するのが 楽しいですか。	34.6%	20.2%	11.4%	14.0%	19.9%

【課題】

問2「悩みや困っていることを先生や大人に相談していますか。」

肯定的回答が57.6%で割合が少ない。原因として、そもそも学校生活や家庭生活が充実しており、悩みや困っていることが特にないという場合がある。その一方で、悩みや困っていることはあるが、先生や大人に相談することを躊躇ったり、あきらめていたりしている現状があるとも考えられる。今後も、定期的な学校生活アンケートを実施し、子供一人一人と関わる機会を確保するとともに、学校に携わる全ての大人が子供たちを見守っていくことに努めていく。

問6「すすんでみんなに発表したり、友達に意見や感想をいったりしていますか。」

コロナ禍では、グループでの話し合い活動が制限されており、話し合い活動自が不足していた。また、タブレットを用いて発表する際に、それをただ見合うのではなく、それを材料にして話し合う活動が求められるが、ともすればタブレットを見合うことが中心になり、十分な説明や議論を行っていないことがある。タブレットを用いながらも、考えを伝えあう話し合い活動が十分に行えるような学習活動に取り組ませていく。

問13「地域の方と一緒に 行事に参加するのが楽しいですか。」

肯定的回答が約50%であった。その原因として、コロナ禍での行動制限が大きく関わっている。地区班活動やPTA行事が全体的に縮小したため、子供たちの中にそのような実感がわきづらいという現状がある。今後、来年度からコミュニティスクール校を控えており、ますます学習活動の中で、地域や保護者の皆様、関係諸機関との連携を図っていく。保護者や地域の方々に見守られながら、成長していることを子供たちが実感できるような学習活動に取り組んでいく。

裏面に児童の【成果】が記載しております。

## 【成果】

### 問1「学校のきまりを守り、安全に気を付けて行動していますか。」

肯定的回答が91.2%と高評価であった。これは、年度当初、「令和5年度柳沢小スタンダード」を設定し、児童、保護者、教員が共通理解の上で、学校全体で周知徹底に取り組んだ成果だと考えられる。今後も、児童、保護者、教員が常に学校のきまりについて共通理解し、安全で充実した学校生活を送れるようにしていく。

### 問3「学校に来ることが楽しいと思いますか。」

肯定的回答が82.1%と高く、多くの児童が学校に来ることを「楽しい」と感じていることがわかった。このことから学校が楽しく安全な場所であることがうかがえる。その一方で5.6%の児童が「思わない」と回答した。そのような思いを抱える児童の不安感を取り除く必要がある。様々な背景が考えられるから、児童一人一人について、ご家庭や関係諸機関と連携しながら、不安感を取り除き、100%を目指していく。

### 問11「友達のことを思いやり、すすんで親切にし、協力して楽しい学級をつくらうとしていますか。」

肯定的回答が80.3%と高い結果であった。本校における道徳教育では「親切、思いやり」を重点課題として、指導の重点化を図っている。今後もさまざまな教育活動で、互いに思いやりをもってふれあっていくことを意識させ、思いやりのあふれる学校をめざし取り組んでいく。